

職層研修「新任研修（経験者）」

【第1回】	【実施日】	4月28日（月）、30日（水） 各日9：00～17：00
	【受講決定者数】	267名
	【受講生の声】	・公務員の仕事、その目的という基本から自治体の構成、課題などを学びました。全ての職務には法による根拠がある、それを意識して働いていかねばならないとよく分かりました。 ・地方自治を支える原則から自治体の種類、構成を学びました。クイズ形式で特別区と行政区の違いをわかりやすく学ぶことが出来ました。 ・公務員の身分の取扱い、職員の義務(職務上・身分上)、求められる倫理観について学んだ。特に倫理観については動画視聴を通じて、業務内外問わず、第三者から観られている立場にあることを自覚し、プライベートであっても信頼を失わないよう自律した言動が求められていると強く感じました。 ・具体的な人権問題についてグループで議論しながら、問題点や対応策を検討する時間もあり、より深い学びにつながりました。
【第2回】	【実施日】	5月1日（木）、2日（金） 各日9：00～17：00
	【受講決定者数】	208名
	【受講生の声】	・自治体、特別区の予算構成やその執行にかかる流れについて学ぶことが出来ました。特に地方組織と特別区の歳入構成比率の違いなど、都と特別区の関係性により、他の地方組織とは大きく内容が異なる部分があるというのは新たな発見でした。 ・地方自治の仕組みや自治体の構成、住民参加のあり方等の講義を通じて、自分が特別区職員としてどのような原則の中で働くのかを理解した。 ・日頃目にするニュースや出来事の中に常に人権問題は存在しており、私たちの生活と密接に関わっているのだと気付かされました。一度根付いてしまった差別意識を解消するには人々の意識改革と多大なる時間、労力が必要です。特別区職員として、人権尊重を知識だけにすることなく日々の業務の中で実践していくことが求められていると考えました。 ・公務員として求められる倫理について、法令を参照し学

		びました。汚職や罰則の実例を調べ、自身の倫理感について改めて振り返りました。
--	--	--